

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド2号」第3号案件への投資について ～スマートウィンドウ「Atmoph Window」の製造販売を行う「アトモフ株式会社」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド2号）」は、第3号投資案件として、「アトモフ株式会社」へ投資いたしました。

「アトモフ株式会社」は、窓型スマートディスプレイ「Atmoph Window」の製造販売と、オリジナル風景映像の販売等を行う企業です。「Atmoph Window」は、美しい映像と臨場感ある音で世界の風景が楽しめる“スマートウィンドウ”で、インターネットにつながったIoT製品でありながら、現実の「窓」と同じように部屋に開放感を与え、生活に潤いをもたらす“未来の窓”として、日本だけでなく海外でも注目されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、幅広いステージの企業を積極的に支援し、さらなる地域経済の活性化と地域創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	アトモフ株式会社
代表者	代表取締役 姜 京日
本社所在地	京都市中京区柳八幡町75-6 LS京都ビル3F
設立	2014年8月14日
事業内容	窓型スマートディスプレイ「Atmoph Window」の開発・製造・販売、風景映像コンテンツの販売 等

2. 投資額

21,580,000円

3. 投資について

窓型スマートディスプレイ「Atmoph Window」の開発・製造・販売、風景映像コンテンツの販売等を行う「アトモフ株式会社」に、事業資金として出資を行う。

4. 京銀輝く未来応援ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	10億円
当行出資額	9億90百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年 (ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上